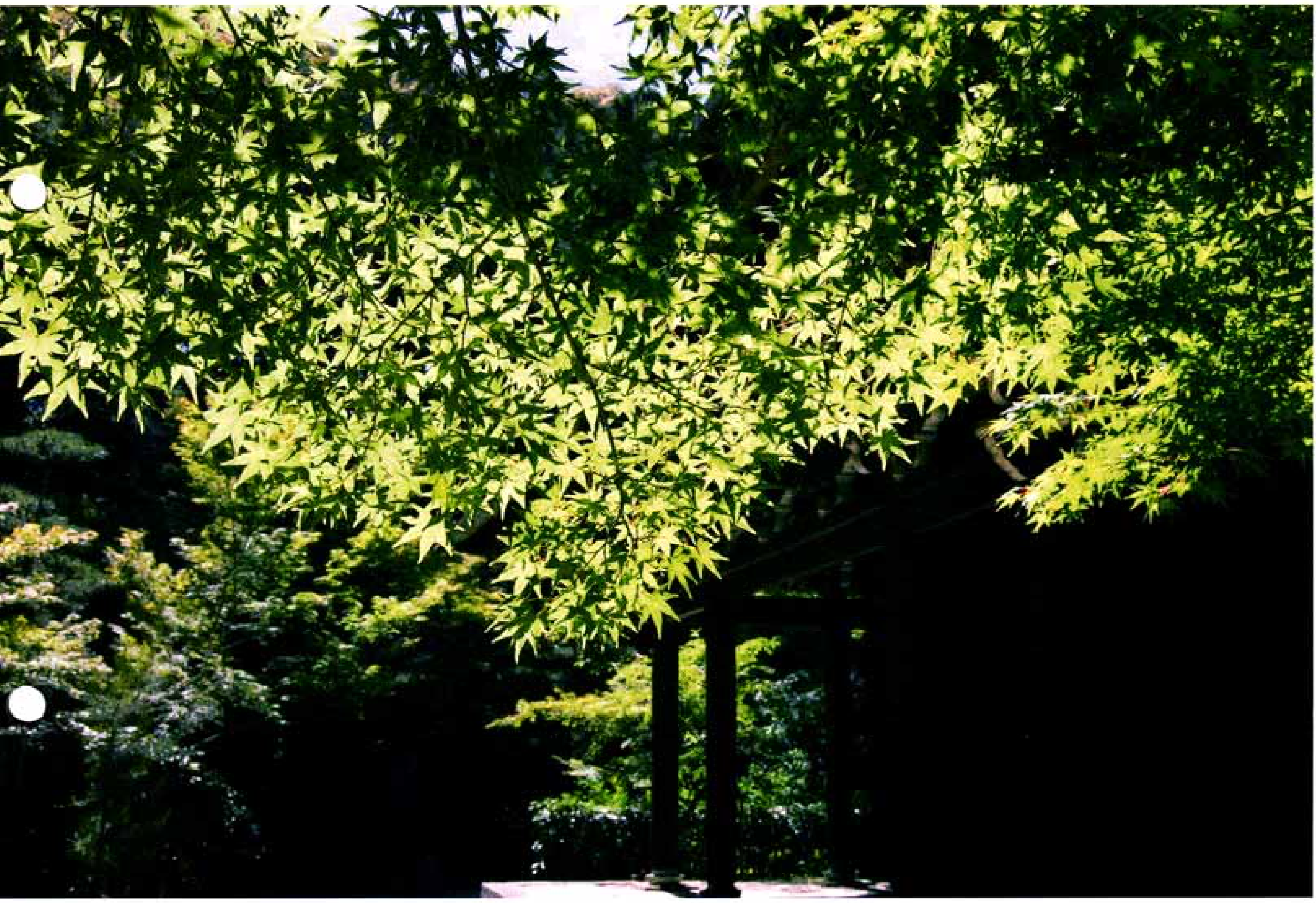
京柔整会報

機関誌 140号



巻頭言	「嘉納治五郎先生に学ぶ」	会長　長尾 淳彦
特　集	会員インタビュー　　田中 弘昭理事に聞く	
開　催	平成28年定時総会・懇親会	
会員投稿	国宝 石清水八幡宮　第53回古武道奉納演武大会	井上 彰二

公益社団法人 京都府柔道整復師会

平成28年7月20日

京都医健専門学校

柔道整復科

3年制

Ⅰ部　午前集中コース（ 9:20～12:30）
Ⅰ部　午後集中コース（13:20～16:30）
Ⅱ部［夜間］（18:20～21:30）

【柔道整復師】

京都医健は全国に約70校の姉妹校を有する滋慶学園グループの1校です。そのうち8校が柔道整復師を養成しております。
姉妹校とのネットワークを活かし、国家試験対策を入学前から行っています。また。e-learningを用いてパソコンや携帯でいつでも学習ができます。万が一、国家試験が不合格になった場合は授業料無料でサポートします。

京都医健は、「既修得単位認定制度」・「専門実践教育訓練給付金制度」を設けています。

あなたの学費をサポート!!

あなたのキャリアを最大限に活かす!

既修得単位認定制度

大学・短期大学・専門学校の専門課程において既に履修された授業科目（基礎科目・専門基礎科目）で、本校のカリキュラムと同一科目もしくは授業内容が同一の場合、単位を認定し、その科目の履修を免除します。また認定された科目に対し授業料を一部免除します。さらに、学校長が判断した場合、授業科目が同一でない場合も単位を認定することがあります。

既修得単位認定制度で **履修単位の免除** **授業料の免除** を受けることができます

キャリアアップを国が支援!!

平成28年4月入学対象者

専門実践教育訓練給付金制度

対象　柔道整復科・鍼灸科・言語聴覚科・社会福祉科

専門学校の職業実践専門課程で給付制度を行っている学校及び厚生労働大臣が専門的・実践的な教育訓練として指定した講座（専門実践教育訓練）を受講した場合に、給付金の給付割合の引上げや追加支給があります。

＼最大144万円給付／

鍼灸科

3年制
Ⅰ部[昼間]午前集中コース
Ⅰ部[昼間]午後集中コース
Ⅱ部[夜間]

理学療法科

4年制
Ⅰ部［昼間］
Ⅱ部［夜間］

作業療法科

4年制
Ⅰ部［昼間］

視能訓練科

3年制
Ⅰ部［昼間］

言語聴覚科

2年制
Ⅰ部［昼間］
※大卒者対象

社会福祉科

1年制
Ⅱ部［夜間］
※大卒者等対象

精神保健福祉科

1年制
Ⅱ部［夜間］
※大卒者等対象
2017年4月設置（認可申請中）

スポーツ科学科

2年制
アスレティックトレーナーコース
スポーツトレーナーコース
スポーツインストラクターコース
スポーツ&ビューティーコース
スポーツメディカルコース
スポーツ福祉コース

トータルビューティー科

2年制
エステティックコース
メイクアップコース
ネイリストコース

※ご不明な点は、オープンキャンパスまたはお電話でお問い合わせ下さい。

スポーツ・医療・福祉・ビューティーが学べる
学校法人 滋慶京都学園 厚生労働大臣指定校
日体協公認アスレティックトレーナー免除適応コース承認校

医健KEN 京都医健専門学校

0120-448-808 ケータイからもOK!
〒604-8203 京都市中京区三条通室町西入衣棚町51-2
Eメール info@kyoto-iken.ac.jp
携帯サイト http://kyoto-iken.ac.jp
WEBサイト http://www.kyoto-iken.ac.jp

携帯サイト
携帯・PHSからQRコードで簡単アクセス!

京都医健　検索

目　　次

- 表紙の写真 …… 1
- 巻頭言 「嘉納治五郎先生に学ぶ」 …… 会長 長尾淳彦 …… 2
- 会員インタビュー 「柔整業界の発展にお役に立ちたい」
  田中弘昭理事に聞く …… 4
- 会館移転委員会～経緯・現況報告 …… 8
- 平成28年度 定時総会・懇親会 …… 10
- 普通救命講習会 …… 15
- 京都府柔道整復師会学術部・京都仏眼医療専門学校 第５回 合同講習会 …… 16
- 第28回日整少年柔道京都大会・第４回形競技会 …… 20
- 「トンズランス感染症とは」 …… 梅谷慎二 …… 22
- 国宝石清水八幡宮 第53回古武道奉納演武大会 …… 井上彰二 …… 24
- 超音波画像観察装置初心者セミナー …… 26
- 救護活動報告
  - 京都市体育振興会連合会会長集会「ニュースポーツ大会」 …… 26
- 平成28年 京都府柔道整復師協同組合総代会 …… 波多野晃彦 …… 27
- 支部だより
  - 伏見柔整会 …… 通信員 松本吉弘 …… 27
- 会員の動静 …… 28
- 掲示板コーナー …… 28
- 編集後記 …… 29

表紙の写真

「一休寺の青もみじ」

「一休寺」は京都府南部の京田辺市にある、とんちで知られる一休さんゆかりのお寺で、正しくは「酬恩庵（しゅうおんあん）」という。この地には元々、大応国師（南浦紹明）によって建てられた妙勝寺というお寺があり、それが時とともに荒れ果ててしまい、国師の六世の禅の弟子である一休が、36歳から約30年かけて復興し、師の恩に酬いるとの意味で「酬恩庵」と名付けられたものである。参道と境内の晩秋に染まる紅もみじが有名であるが、初夏に色づく青もみじもみごとに美しい。公式ホームページより引用

（写真／文　広報部 波多野）

巻頭言「嘉納治五郎先生に学ぶ」

会 長 **長 尾 淳 彦**

私たちの国家資格名である「柔道整復師」。その冠である「柔道」についてもっともっと学ぶべきだと、柔道の創始者 嘉納治五郎先生のことを知るために、「嘉納治五郎師範に學ぶ」（村田直樹著）公益財団法人 日本武道館発行、「気概と行動の教育者　嘉納治五郎」（生誕150周年記念出版委員会編）筑波大学出版会発行を読んだ。

当時（明治時代初期）の柔術界と現在の柔道整復師界のおかれている状況は酷似している。危機的状況から嘉納治五郎先生がどのような理念と行動力で「講道館柔道」を作られたかを全柔道整復師が知ることは今後の柔道整復師界にとって非常に大切なことである。

現状の柔道整復師界が患者である国民に信頼される業界になるためのヒントがここにはある。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

文中、引用紹介する。注：師範＝嘉納治五郎

『師範に拠れば、明治時代の始め、世間では柔術とは身体を害し、益することは無いもののように考えられていた。また、かつて門人は、免許を貰う迄は柔術を教えることを許されていなかったが、この頃になると必ずしもそうではなくなり、人に教える程の技量が未だ身に付いていないうちから指導を始め、本当の柔術ではないことを人に伝えたりする者が出て来た。すると世間は柔術とはこんなものかと思って、まだ自分の知らない本当の柔術までも軽蔑するようになった。更に、世間には柔術を一種の見世物にし、お金をとって相撲や軽業をなす場所で人に見せたりする者が出て来たりした。かくして世の人々は、益々柔術を何か卑しいもののように思うようになって来たのである。－中略－　師範は考えた。飽く迄も柔術の伝統、その道について古人の功労を消滅すべきではない。故に、以前より在った名称を遺し、その上で自分の道場の名前を付けようと。』

この考えをもって明治十五（1883）年五月に講道館を下谷の北稲荷町永昌寺において創始したのである。

以上をまとめると、

①自分が新たに始めるものについて、世間に誤解をされてはならないということ

②そもそも術は手段で道が根本なのだから、道という名前を付けること

③そして、永きに渡って柔術の伝統を継承してきた古人の功労を消滅してはいけないと考え、柔の字は遺したこと

先人の功労を消滅させない、原理を見抜く、そして拙策は避ける。名称の問題一つにしても、これだけの知恵が用意されたのである。ここには人間の踏み行うべき道が示されているようだ。

即ち敬うという心、普遍を見つめる理知、そして英図に拠る実践というそれぞれの道が。

「精力善用」

講道館創設当初は、柔術や柔道の原理を「相手の力に順応し其の力を利用して勝つ」という柔の理で説いていたが、やがて「心身の力を最も有効に使用する」という原理を編み出した。心身の力を精力という言葉で表し「精力最善活用」とし、それを約言し「精力善用」とした。

「自他共栄」

人が共同生活をしている以上、相互の間を融和協調していかなければいけないのである。それには、互いに譲り、互いに扶けるということをせねばならない。人は常に自分の栄えと他人の栄えを両立するように自分のことのみを考えず人の為をも考え、他人の為に尽くしながら自分の為をも図ることを忘れぬというところに融和も平和も進歩も生じてくるのである。

嘉納治五郎先生は「柔道は心身の力を最も有効に使用する道である」の心身の力を精力の二文字に詰め、人間の行動は善を目的に最も有効に行うということで「精力最善活用」と唱えた。そして、精力最善活用によって自己を完成し（個人の原理）、この個人の完成が直ちに他の完成を助け、自他一体となって共栄する自他共栄（社会の原理）によって人類の幸福を求めたのである。

・・

「柔道整復」は日本で生まれ日本で育った正真正銘の「日本の伝統医療」です。

従来、「まちのほねつぎ・接骨院」として地域を支え、地域の方々と共に歩んできた柔道整復師です。

医療人としての「誇り」と「責任」を持って地域に根差した柔道整復師として社会貢献出来るよう皆で取り組んで行かなければならない。

地域の安心・安全なコミュニティの構築のために京都府が力を入れている「京都府地域の安心・安全サポート事業所」に協力し、その役割を務めております。

常に世の中の動きを見据え法令遵守した行動がとれる組織でありたいと思っています。すなわち「やるべきことをきちんと出来る組織」の構築であります。

本会並びに柔道整復師に課せられた社会的使命や役割をしっかり認識し、会員各位をはじめ、関係省庁・関連団体の皆様と連携しながら、全力で職務に取り組んで参りたいと存じます。皆様の一層のご協力ご支援を切にお願い申し上げます。　　　　平成28年7月吉日

引用文献：〇村田直樹著：嘉納治五郎師範に學ぶ.（公財）日本武道館．2011
〇生誕150周年記念出版委員会編：気概と行動の教育者　嘉納治五郎.
筑波大学出版会．2011

特集

【会員インタビュー】

「柔整業界の発展にお役に立ちたい」

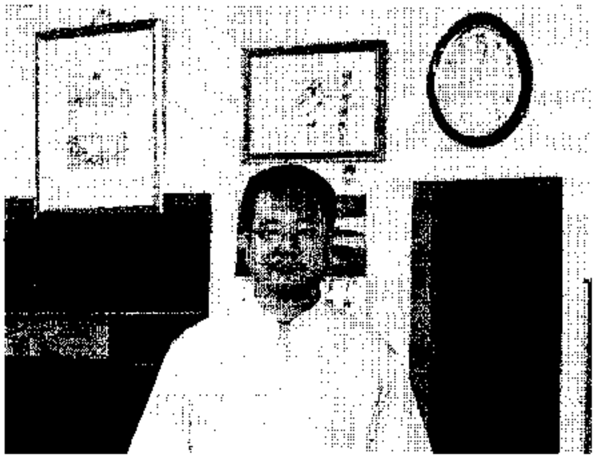
田中弘昭理事に聞く

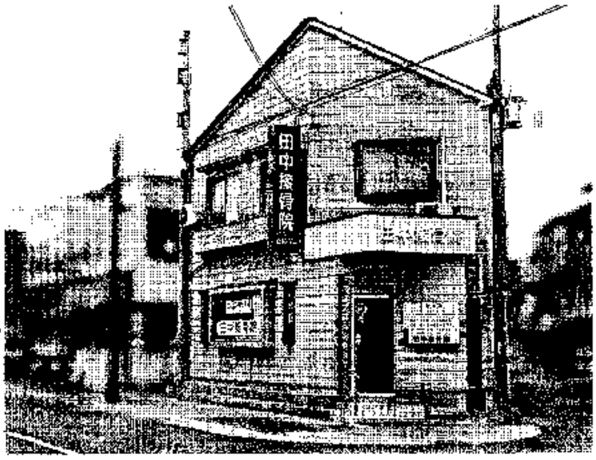
今回の会員インタビューは平成27年6月に新執行部役員として理事に就任、学術副部長としてご活躍の田中弘昭会員です。田中会員は祖父、父、ご自身と三代続く接骨院の家系であり、現在の柔整業界に対して少しでも力になりたいという意欲を持っておられます。そんなところや私生活のこと、いろいろと語っていただきました。なお、このインタビューでは細かく質問項目を分けない形式で文章化して原稿にまとめさせて頂きました。

《プロフィール》

田中弘昭（たなか ひろあき）
1968年11月生まれ。京都府向日市出身

- 行岡保健衛生学園、整復科（現、大阪行岡医療専門学校長柄校 整復科）卒業 1994年3月
- 本会入会 1996年4月
- 青年部員、副部長
- 学術部員 2001年4月～2005年3月
- 乙訓支部長 2009年4月～2011年3月
- 理事、学術副部長 2015年6月～
- 本会永年表彰（20年）2016年6月





理事就任の経緯

養成校乱立による過当競争、ごく一部の不心得者の不正請求問題で保険者調査などが患者さんの接骨院受診抑制となっており、柔整師業界が未曾有の危機を迎えています。

会員の減少など会の状態にも危惧しているものがあり、そのような状況をなんとか打破したく、微力ですが本会や会員の先生方のお力になれるよう頑張りたいと思ったので理事選に立候補しました。

【学術部の活動内容】

春・秋の京都接骨学会、近畿学術大会、養成校合同講習会、超音波セミナー、接骨医学会への協力、柔道整復師卒後臨床研修制度への協力、学術関連書籍・ビデオ・DVD貸し出し、補助金事業など

学術部での活動

平成27年度は近畿学術大会の京都主管での開催もあって忙しく大変でした。無我夢中で終わってしまいました。今期は落ち着いて行事やその他の業務をきっちりこなせるようにしたいと思っています。5月21日開催の超音波のセミナーは春の学会でも取り上げていましたが単独では新しい試みです。広報誌が出る頃には第1回目は終了していますが、シリーズで開催する予定ですので会員諸先生方には奮ってご参加いただきたいと思います。

本会が目指していること

もっとも現状で直面しているのは直近では会館移転問題ですが、6月の総会で承認され、今年中に移転して仮事務所からの出発となります。それ以降の予定は進行しつつあるところですのでご静観いただきたいと思います。そのほかでは、会長よりたびたびお話のあるところですが、保険者や行政からの信頼回復、その対策の一環として「接骨院」の名称の統一や看板表示内容の制限、収入面でも改善していける方向での業務開拓、会員の本会行事への参加の啓蒙、推進、参加状況をHPなどで一般大衆に知らせたり、交通事故の患者さんを会員へ紹介していくことなどを行うことによって本会会員のメリットを推し出していきます。また、他団体や個人の柔道整復師への本会入会も促して参ります。介護分野においては執行部全体で地域包括ケアシステムへの柔整師の参画を目指しています。

柔整師と接骨院のこと

私のことですが、祖父、父、叔父、いとこも柔整に携わっており、いつの間にか自分も柔整師になっていました。三代目でやっているという所は少なくて、その辺りも運命的なことを感じています。私の所では現在でも骨折や脱臼などの患者さんがよく来られている方だと思います。提携させて頂いている医院と密に関係をもって、同意もいただき、施術にあたっています。

接骨院での骨折・脱臼の取り扱いがかなり減っていると思われる業界の現状ですが、今まで手術適応例以外は患者さんの希望も聞きつつ、臆することなく施術をするというスタンスでやってきました。そのためには当然ながら適切な処置をして、医師の所に患者さんを連れて行く労を惜しまないことです。情報提供書なども詳しく適切なことを書き、敬意をもって医師に接し、そのような実績を積み重ねることによって信頼関係が生まれます。書類に書いた内容が間違っていなければ、きっちりと症状をみて、それがどのような状態であるかを判断することができると判って頂けます。処置を見て整復位の保持ができていれば任せて頂くことができます。

橈骨下端骨折、鎖骨骨折、腓骨骨折、指骨骨折などは時々来院されています。施術時間内に他の患者さんに骨折・脱臼も施術しているのを見てもらえば外傷を取り扱う接骨院だというアピールにもなります。重篤そうな外傷であっても明らかな病院適応例以外はすべて施術します。最初からよその医療機関に送るようなことはしません。

日常施術では患者さん一人一人に症状や状態の説明をきっちりして納得してもらうことを大切にしています。患者さんの症状や特性に応じて色々な方法を選択して施術しています。実費施術は現在していません。色々な選択肢の一つとしていいと思いますが、日常的に取り入れていくのは案外難しいと思います。保険と実費の時間を分けるくらいでしょうか。

どのような接骨院が理想かというと患者さんのニーズに合っていることですね。患者さんが来やすい日時に開いていること。リピーターが多いこと…即ち早くきっちりと治ること、説明が詳しくて納得できるとか、相性がいいとか、家が近いとか(笑)、色々考えられますね。満足度が高

い状況を作ってあげるのが大事ではあります。個々の患者さんによって満足の要素は幅広くいろいろあります。親切に感じる。優しく感じる。または逆に厳しさを求める人もあるのかもしれないです。何を求めておられるかは難しいですね。接骨院をしていて良かったことは色んな人と巡り会って接することが出来たことです。もっともそれは接骨院以外でもそうでしょうけどね。

柔道整復師養成施設専科教員

教員歴は行岡で4年、仏眼で9年、合計13年です。教師になろうと思った理由は行岡保健衛生学園の教務主任より母校の講師になって指導をしてくれないかとお話があったので認定講習会を受講して、合格し教員となりました。本業は臨床家なので骨折、脱臼、捻挫などの臨床経験が豊富にあります。それらを活かして母校に恩返しができたらいいと考えました。

専門学校の講義ですが、昔は説明したことでわからないことがあったらまずは自分で調べなさいという感じでした。今は初めからわかりやすく噛み砕いて説明するようになってきています。私は一生懸命に講義をしているのに生徒に寝られるのが嫌いです。ですから退屈しないように書かせる、読ませる、質問する、アニメーションを付けたり、動画を見せたりなどいろいろ工夫していました。講義が終わっても質疑などになるべく答えるように時間を割いていました。また、臨床現場での症例の画像を出来るだけ見せたりするようにしていました。

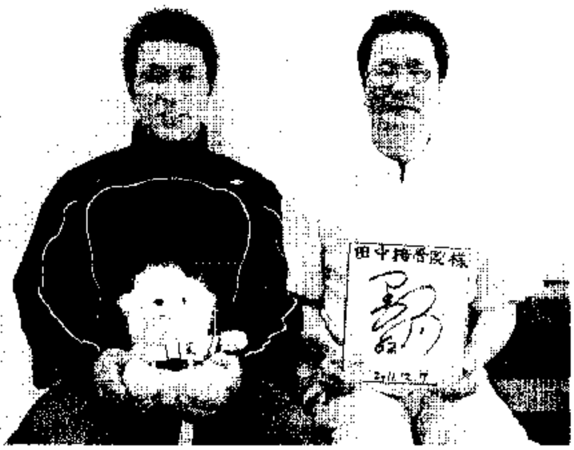
今は講師活動をしていませんが、また機会があれば行きたいと思っています。やっていると面白いし、勉強にもなります。人にものを教えるならばその分野で場合によっては何十倍もの下調べが必要になります。若い生徒たちと接するとき、良くない考え方を変えさせるような意見も言うことがあります。教師という立場だから言えることですが大事なことであると考えています。

介護支援専門員

2回目の試験の時に急に取ろうと思いました。次の年からぐっと難しくなるとのことで受けようと思いましたが教科書が手に入らなくて、やっと手に入ったのが試験1か月前でした。とにかく一生懸命勉強しました。負けず嫌いな性格なのでなにくそと頑張った結果、なんとか合格できました。ケアマネ取得後、しばらく活動をしていましたが、ケアマネ資格更新講習で平日、仕事を休んで行かなければならなくなったこともあり、現在、介護支援専門員資格は休眠しています。接骨院と同時に仕事していくことは尋常ではなく大変と分かったので、休眠状態が続きそうです。

プライベート

私は人見知りする方でしたが、なぜか昔から学級委員などを推薦されてすることが多かったです。人前に出るのは苦手でしたが頼まれると、やってみようと思ってやってきました。例えば二つの道があって高い山の道と平坦な道があったとします。私は高い山の道を選ぶタイプです。人生での色々な選択肢があったとき、みんな迷うと思います。楽な方を行くか、しんどい方に行くか。もっとも、それほど単純なことは少ないとは思います



向日市出身
埼玉西武ライオンズ 駒月仁人選手と共に

が、私はしんどい方に行った方が後悔しない性格です。

趣　味　：昔はスキーによく行っていましたが、最近は写真を撮りに行ったりしています。
音　楽　：JPOP ランキングで上位のものを聞いています。
好きな食べ物：元々は肉が好きです。焼き肉とかね。この頃は魚も結構食べるようになりました。
嫌いな食べ物：特にありません。
飲み物　：ビール、ジュース、コーヒー何でも飲みます。

座右の銘：「初心忘るべからず」天狗になってはいけないと自分を戒めることばにしています。
何のために生きているか：やり残したことがあるからでしょうか。死ぬまでに答えが出たらいいと思っています。

父のこと

《田中一吉先生の役職歴》

・理事　1983 年 4 月～1994 年 4 月
・理事長　1994 年 5 月～1995 年 3 月
・副会長　1995 年 4 月～2005 年 3 月
・近畿ブロック代議員
　1999 年 4 月～2005 年 3 月
・日本柔道整復師会代議員
　2002 年 4 月～2005 年 3 月

《田中一吉先生の受賞歴》

・京都市長表彰	1989 年
・京都府知事表彰	1994 年
・京都労働局長表彰	1994 年
・厚生大臣表彰	1995 年
・厚生労働大臣表彰	2003 年
・本会 40 年表彰	2004 年
・日整永年表彰	2008 年

厳しい父で曲がったことが大嫌いでした。そんな父から学んだことのひとつは、あきらめないということ。例えば変形が強度な足関節が脱臼骨折した患者さんの来院があったときでも整復するように指示され、整復した結果、治癒に至り、施術に対する心構えを学びました。そんな父も昨年 7 月に亡くなりました。

昔は接骨院でＸ線撮影ができた時期がありました。父は器用な人でしたので、今では手術でしか治らないような難しい骨折をＸ線画像と真剣ににらみあい、時には転位している第 3 骨片の事が気がかりで眠れない夜もあったようです。それでも、最終的に工夫して多数の骨折患者さんを一例も失敗することなくすべてうまく治したようです。今でも骨折患者さんは時々来られますが、どれだけ頑張っても父を越えられないでしょうし、父の偉大さを感じています。

後記

柔道整復術すなわち「ほねつぎ」には優れた武道医術が脈々と継承されてきた歴史がありました。しかし、それは決して順風満帆たるものではありませんでした。先人たちの苦難の歴史があり、開業権、受領委任払い制度等、勝ち取ってきたものもありました。かつて「骨はほねつぎで」でしたが現在は時代の変化と共に骨折治療は医師との連携がないと行うことはできません。そんな中、頑張っておられる三代目がおられることに力強い思いがしました。田中理事の一層のご活躍を期待いたします。どうもありがとうございました。

（広報部　安田優二）

会館移転の経緯

会館移転委員会　委員長　**柴　田　宗　宣**

会館移転の発端は会館のエアコンが後６年経過すると触媒のガスが使用できなくなり、大掛かりな修理費（2600万円）が必要することが昨年判明した。エアコン修理代に2600万円投資しても会館の老朽化を考慮するとエアコンを修理する必要性が見出せなかった。また、会費を値上げして修理代に充当するには柔道整復師を取り巻く環境が厳しい状況にあり、困難と判断した。これらのことが発端で藤野相談役を委員長とした「会館移転計画検討委員会」を平成27年10月３日に発足した。会館移転検討委員会発足後は数回に渡り委員会を開催して平成28年１月16日に説明会を開催、平成28年１月23日に臨時総会を開催、会員に会館移転の承認を得た。

平成28年１月24日から会館移転の具体的計画を会館移転委員会が引継ぎ、平成28年４月18日に停止条件付売買契約を完了させた。現況においては、停止条件の一つである移転先の選定中である。

会館移転計画検討委員会における検討事項

1　会館移転計画立案の背景

（１）本会の財政状況等

ア　会館維持の問題

建設来31年６か月が経過した会館、今後10年以内に特別補修工事等の費用として積算できる範囲で約8,200万円の出費が想定された。また、積算が難しいものとしてエレベーターの新設と耐震工事の費用があり、何千万の単位で相当高額な金額になることが確かになった。ちなみに、エレベーターに関して、現在の使用中のものは部品がなくなると使用不可となり、同じサイズの機種は生産されていないことも判明した。

イ　財務の現状と将来予測

余剰資金として修繕費・償却資産引当金として約8,400万と収支繰越金から5,300万円計１億3,700万円あったが、会費収入が逓減しており、特別補修工事費用を除いても経常収支の累計赤字が平成36年には約9,000万円となり上記の補修工事費8,200万を加算すると概算で１億7,000万円に達することが判明した。

ウ　会費値上げの問題

日整会員一人当たりの取扱件数が平成22年起点で91%、年収が83.7%に減少している。柔道整復師を取り巻く環境が年々悪化しており、厳しい状況にあり、会費を値上げして、財政的基盤を確保するのは困難と判断した。

2　会館移転計画発企の理由

（１）会館補修に要する費用の増大化

（２）会館稼働率が非常に低く不経済である。

（３）現在の会館立地条件上にある売却に有利な社会・経済情勢の存在、京都市内、中でも観光地に訪れるインバウンドと総称される観光客が幾何級数的に増加しており、恐ろしいほどの数に達している。会館が立地する東山界隈は，清水寺をはじめ京都有数の観光資源がひしめいている。このことが、経済活動が活発になり、近辺の不動産価格を押し上げているのは周知のことである。

3　新たな会館確保の選択肢

（１）現在の会館を取り壊し建替える

（２）別の場所に新築する

（3）テナントを借りる
（4）当面テナントで過ごし時機を見て新築する

4　上記のコストパフォーマンス

（1）建替の場合
　ア　建築費用：1億3,000万円
　　　積算条件：最低必要床面積；330㎡
　　　　　　　　建坪単価：100万円（予測）
　　　　　　　　更地費用：2,500万円（予測）
　　　その他費用：500万円（予測）
　イ　財政的には特別補修費用8,200万円が不要になり、会館維持経費も現在の2分の1ぐらいになり年間250万円ほど軽減することが予測できるが、この面積では、総会、学会、講習会などの会場費として年間140万ほどかかるので差引100万ぐらいと見込まれる。しかし、建設費に1億3,000万かかり余剰資金1億3,700万をすべてつぎこむことになり、特別補修費用がかからなくても、現状のままで事業展開が推移すると今後10年間で収支差額が累計で約9,000万の赤字となり、余剰資金がなければ初年度から借金経営となることが予測される。
（2）別の場所に新築する
　地所の選定、その他の諸条件の決定も含め完成まで長時間かかり、売却の時機を失するおそれある。
（3）テナントを借りる
　テナント330㎡の賃貸料は、現会館の3分の1の広さでも最低の坪単価月額5千円で50万、年間600万、現会館経常維持費約540万円を上回りホールの借り賃140万円をいれると、結構高くつくことになる。
（4）当座の間テナントに入居して新築に備える
　当分の間テナントに収まり、諸条件をできるだけ満たした新築計画を遅れることなく立て、最適な時期に自前の活動拠点を確保する。

5　会館売却にかかわる社会・経済情勢と売却効果・利益

（1）会館周辺地域で起きている変化は、経済活動にとって有利な情勢であるが、本会の事業推進にはこの好条件を利用できる要素もなく、あらたな収益事業を発起するノウハウも乏しい。しかしながら、会館売却にとっては有利な環境である。
（2）会館の土地・建物の評価について
　会館の土地・建物の評価については情報により試算すると、建物は0円で、土地は坪単価200万円～250万円、109.6坪で、2億2,000万円、から2億7,000万円となる。建物が評価されても計3億を超えるかどうかの程度との情報もあった。
（3）売却した場合、売買益：手元に残る金額は税理士の試算によると、約4億6,500万円となる。3%の仲介手数料を設定。所得にかかる税金は公益法人の優遇課税により約200万円で済む。
（4）売却により、会館にかかる特別補修費用が不要となり、そして余剰資金として引当預金と収支繰越金から計算できる額は1億3,800万円となる。財政圧迫の回避策の構築も可能となる。
（5）この資金により、事業拠点となる経済的かつ効率的な新しい会館を保有し、そのうえ事業資金として利用でき、何よりも会費を相当の期間増額せずに済むことが幸いである。

結論
以上により会館移転計画を推し進めるに値する合理性と妥当性があるものと判断した。

後記
平成28年6月12日の定時総会において「会館売却契約停止条件解除（仮事務所の移転先）」が承認され、引っ越しの準備が進められていいます。今後の動静は、本会よりの「お知らせ」及び本会ホームページ（www.kyojusei.com）をご確認ください。

平成28年度 定時総会

平成28年6月12日（日）午後1時より本会5階 大会議室において平成28年度 定時総会が開催された。

平成二十八年度　定時総会次第

司会　事業部長　中村英弘

一、黙祷

一、開会の辞　副会長　柴田宗宣

一、会長挨拶　会長　長尾淳彦

一、新入会員紹介

一、議長選出

一、議事

第一号議案　平成二十七年度事業報告　総務部長　中田康人

第二号議案　平成二十七年度決算報告　経理部長　谷山和浩

監査報告　監事　見原誠

第三号議案　会館売買契約停止条件解除（仮事務所の移転先）　副会長　柴田宗宣

第四号議案　会費規程改正　総務部長　中田康人

第五号議案　報酬等規則改正　総務部長　中田康人

一、質疑応答

一、報告事項

一、閉会の辞　副会長　林啓史

定刻になり司会の中村英弘会員により始められた。物故者黙祷、柴田宗宣副会長による開会の辞、長尾淳彦会長の挨拶があった。内容はおおむね次のようなことである。料金改定の動向について話された後、柔整師の養成校、大学数の大幅増加からくる施術所数の急増による無秩序状態について触れられた。子弟制で技術を学び、師に認められた者が開業地など近すぎないよう暗黙の了解をもって開業するなど、一定の秩序が保たれていた時代は過去のものとなってしまった。これから大事なことは柔整師の資質向上といえる。そのためのひとつは養成校のカリキュラム整備であり、厚労省の「柔道整復師学校養成施設カリキュラム等改善検討会」の委員に属して検討を重ねているところである。また、卒後研修の法制化、生涯学習の重要性について話された。本会のホームページで会員の講習会等の行事参加状況を公開していることは

挨拶　長尾淳彦会長

外部に学習の意欲や、研鑽の度合いをはかるひとつの目安になるとされた。これから生き残っていくためには個人や他団体の会員を吸収して、会員数を増やしていくことが大事である。また、近いうちに京都府の補助金を戴いて開催する、講習会への参加要請をもって締めくくられた。

次に新入会員の紹介があり、議長選出に移った。司会者一任の声がかかり、下京・南支部 林 啓史会員、副議長として山科支部 岡田達也会員が選出された。議事録署名人として宇治支部 中田康人会員が選出された。そして、第一号議案 平成27年度事業報告が中田康人総務部長によって行われた。そして、第二号議案として平成27年度決算報告が谷山和浩経理部長により行われ、見原 誠監事より本会業務が適正であるとの報告が宣言された。その後、第三号議案 会館売買契約停止条件解除（仮事務所の移転先）について柴田宗宣副会長より解説された。続いて第四号議案 会費規定改正、第五号議案 報酬等規則改正について中田総務部長より解説が行われた。

当日の出席者は正会員本人出席61名であった。委任状提出者は217名あり、合計278名で議決権のある正会員総数369名の過半数を超えており、総会の決議事項は成立することになる。各議案について滞りなく説明が行われ、すべて過半数以上の挙手によって承認された。林 啓史副会長の閉会の辞をもって終了した。

執行理事

議長 林 啓史会員　副議長 岡田達也会員

相談役・監事

総会風景

平成28年度 定時総会懇親会

平成28年6月12日(日)定時総会終了後、午後5時より京都ホテルオークラ3階「翠雲の間」において懇親会が開催された。今年も執行部を中心として来賓の方々への不備がないよう1時間以上前には会場に集まり、万全の態勢で臨んでいた。

定刻となり、中田康人総務部長の司会により始まり、右記の次第に沿って順次、進められた。

来賓挨拶では門川大作市長が公務の為に、藤田裕之京都市副市長がされた。

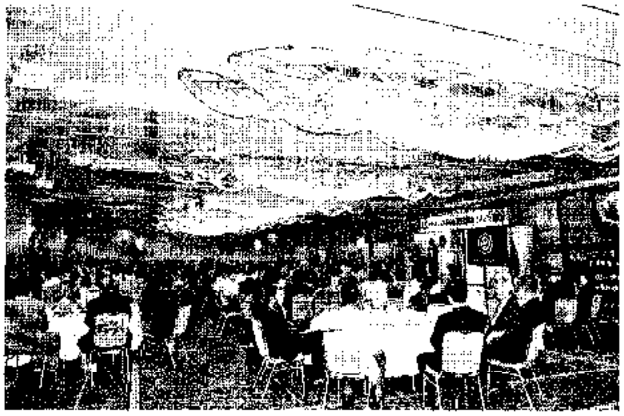
当日は終始、和やかな雰囲気の中、滞りなく進行し、会員諸氏や来賓の方々が和気藹々と歓談し、関係各位の理解も深められ、成功裏に懇親会は終了した。

平成２８年度定時総会懇親会次第

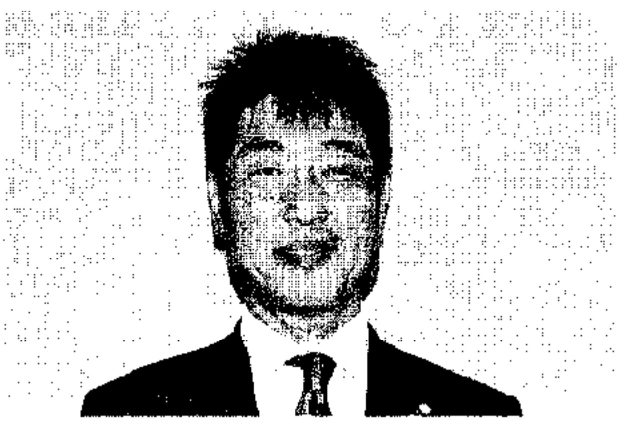
司会　総務部長　中田康人

黙祷			
開会の辞	副会長	柴田宗宣	
国歌斉唱			
会長挨拶	会長	長尾淳彦	
表彰	日本公衆衛生協会会長表彰	柴田　宗宣	会員
	京都府柔道整復師会永年会員表彰	芦田　國雄	会員
		田中　弘昭	会員
	原基金特別表彰	池辺　徹	会員
	京都府柔道整復師連盟委員長表彰	柴田　宗宣	会員
		山村　政男	会員
来賓挨拶	京都府知事	山田啓二	様
	京都市長	門川大作	様
	衆議院議員	伊吹文明	様
	衆議院議員	田中英之	様
	参議院議員	二之湯　智	様
	参議院議員	西田昌司	様
	京都府医師会会長	森　洋一	様
来賓紹介（祝辞）	京都府議会議員	田中英夫	様
	京都府議会議員	片山誠治	様
	京都府議会議員	村田正治	様
	京都市会議員	橋村芳和	様
乾杯	京都府歯科医師会会長	安岡良介	様
万歳三唱	相談役	藤野勝弘	
閉会の辞	副会長	林　啓史	

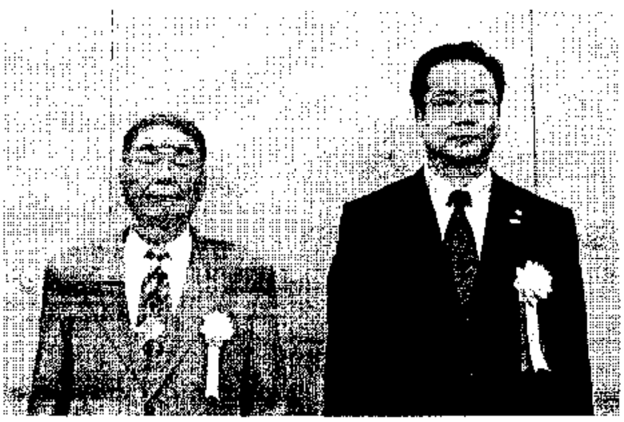
挨拶　長尾淳彦会長


会場風景

開会の辞 柴田宗宣副会長

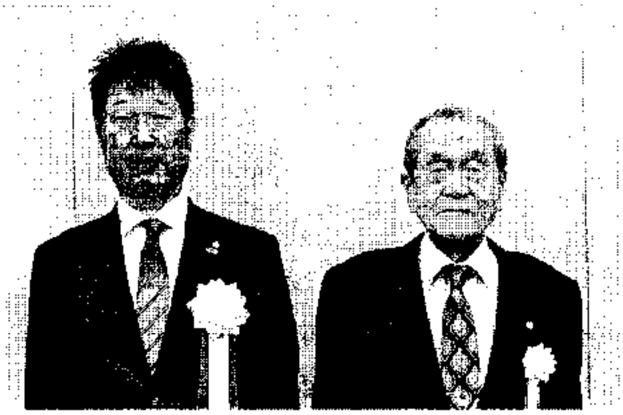


日本公衆衛生協会会長表彰 柴田宗宣副会長

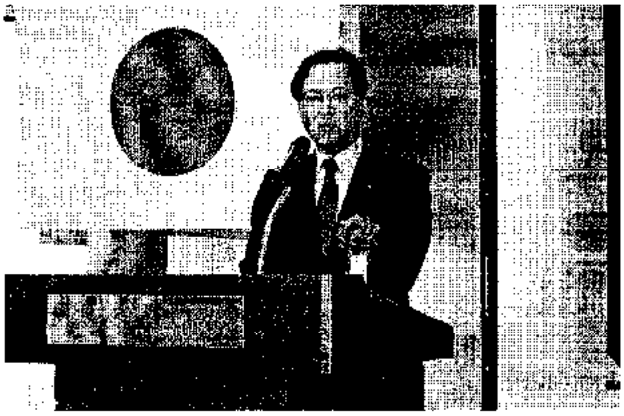


京都府柔道整復師会永年会員表彰
左-芦田國雄会員 右-田中弘昭会員

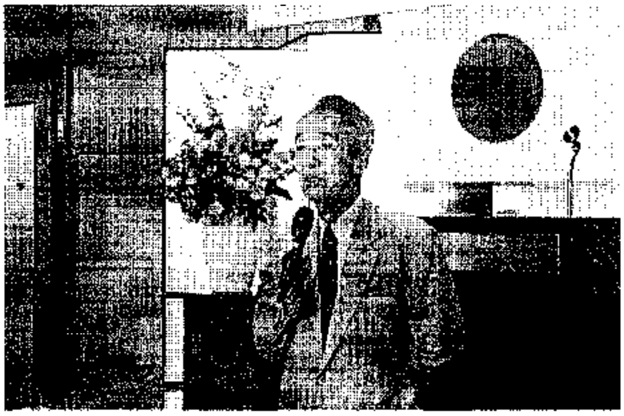
山田啓二京都府知事



京都府柔道整復師連盟委員長表彰
左-柴田宗宣副会長 右-山村政男会員



藤田裕之京都市副市長



伊吹文明衆議院議員

田中英之衆議院議員

二之湯 智参議院議員

西田昌司参議院議員

藤田京都市副市長と野中広務元自民党幹事長

京都府医師会 森 洋一会長

田中英夫京都府議会議員

片山誠治京都府議会議員

橋村芳和京都市会議員

乾杯の辞 京都府歯科医師会 安岡良介会長

閉会の辞 林 啓史副会長

普通救命講習会

事業部　**井　村　亮　太**

平成28年6月5日(日)午前9時から本会5階大会議室に於いて、普通救命講習会が開催されました。普通救命講習は応急手当のうち最低限必要なAEDの使用法を含めた成人に対する心肺蘇生法（胸骨圧迫）、止血法、異物除去などを学ぶ講習で、本会では毎年開催されています。

定刻になり事業部 安本彰吾会員の司会で始められました。林 啓史副会長の開会挨拶の後、講師の京都市消防局 東山消防署警防課救急係 救急係長 玉置 守様により講習が開催されました。講習前半は、パワーポイントを使った講義が行われました。内容は応急手当の重要性からはじまり、心肺蘇生の手順、胸骨圧迫のやり方、AEDの使用法など長年救急に携わって来られた経験からの実話を交えて詳細に進められました。

講師 玉置守様

休憩をはさみ、後半は3つのグループに分かれ、サポート講師陣の沢村様、若狭様、立野様、中西様も交えて実技へと移りました。まず、人形を使用して胸骨圧迫を1人ずつリレー方式で交代して行いました。胸骨圧迫は「強く、早く、絶え間なく」という事ですが速すぎも良くなく、その辺りの感覚を講師の先生から指摘されながら行いました。次に数人ずつのグループに分かれ、救命のシーンを想定したシミュレーションが行われました。グループ内で一番若い参加者がリーダーとなり、観察、人を呼ぶ、救急車依頼、AED依頼、気道確保を指示、胸骨圧迫開始、AED装着という流れで順次進めていきました。

実技風景

講習の終了後、会場から質問がありその内容は次のようなものでありました。

質問1：頭部外傷の疑いがある場合にその場から移動させるのか、させないのかについて教えて下さい。

回答1：安全が第一ですので、その場が安全性に欠ける場合は愛護的に安全な場所まで移動してから、救命処置を開始します。

質問2：AEDの装着について、体毛が濃く、カミソリなどない場合はどうすればいいか。

回答2：基本は右胸と左脇腹となっているが、心臓をはさんで装着すればいいので体毛の少ない左肩と右脇腹でもよい。

質疑応答のあとで玉置様より補足として止血・脱水・熱中症についてのお話がありました。

・止血については吸水性のあるタオルの方が止血効率が良いため、できるなら次々とタオルを交換しながら止血すると良い。補足として頸部・大腿部の動脈を除き、救急隊が到着するまでは出血性ショックになることは少ないとのこと。

・脱水症については水分をとればいいということではなく、スポーツドリンクのような電解質バランスを改善させるようなものを飲むと良い。

・熱中症については8月のような暑いときよりも、5、6月の身体が暑さに適用し始める時期の方がおこしやすく注意が必要。高齢者の増加に伴い、屋外だけでなく室内での発症数も増えているということに注意しないといけないとのことでした。

最後に中村英弘事業部長より閉会挨拶があり、12時30分に講習会は終了しました。

閉会の挨拶
中村英弘事業部長

京都府柔道整復師会学術部・京都仏眼医療専門学校
第５回 合同講習会

平成28年6月19日(日)午後1時より五条河原町の近くにある京都仏眼医療専門学校において表記の講習会が開催されました。梅雨の雨が降りしきっている日でしたが本会会員や専門学校生が集まりました。講習に先だって本会 長尾淳彦会長、京都仏眼医療専門学校 椎名 京校長より挨拶がありました。その後、第一部講習、休憩をはさみ、第二部講習、最後に質疑応答の順で進められました

京都仏眼医療専門学校外観

第一部：「近代柔道整復術の夜明け～アプローチするための科学的根拠を求めて～」
愛知医科大学医学部解剖学講座　安井正佐也先生

安井先生は柔道整復師として臨床に従事しつつ、名古屋大学大学院医学系研究科機能組織学分野 研究生を終了後、職員を経て医学博士号を取得、死体解剖資格も取得されていらっしゃる方で名古屋学芸大学 健康・栄養研究所 客員研究員、名古屋大学人体解剖トレーニングセミナー実習指導者兼事務局長と歴任し、現在は愛知医科大学解剖学講座の助教として務めていらっしゃいます。臨床歴としては、米田医院、白石接骨院、安井接骨院でも従事され、名古屋サッカークラブ、名古屋ラグビークラブ、中京エンペラーボーイズ（硬式野球）の各チームのトレーナーもされていたそうです。国内や海外の医学誌にも積極的に論文発表を重ね、各

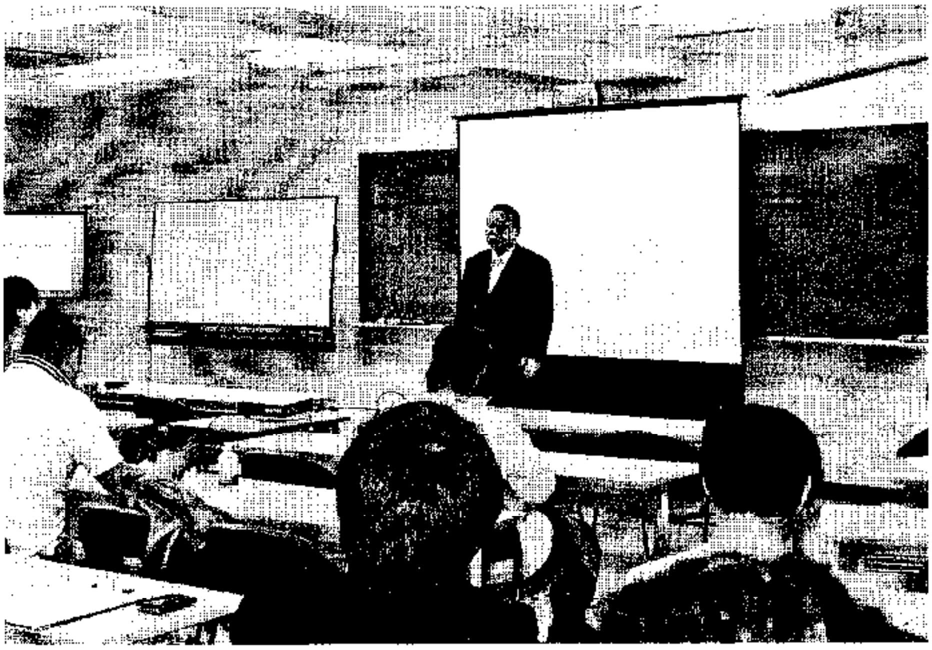
長尾淳彦会長挨拶

種医学系学会で数多くの発表を続けていらっしゃいます。筋骨格系の痛みに関する最近の研究では、脳や脊髄に存在する免疫細胞であるミクログリアの異常増殖が慢性疲労症候群の疼痛に関与しているという共同研究など画期的な活動を精力的に続けておられます。

この日の講習ではパワーポイントを使用して視覚的にわかりやすく進められました。まず症例として65歳女性の足関節損傷を例にとって解説がありました。先生は超音波観察装置に習熟しておられる様子で前距腓靭帯が付着する腓骨下端裂離骨折、第5中足骨基底部骨折をエコー動画で説明され、前医でのX線2方向のみ撮影で判断できない第5中足骨骨折の見逃しを推測されました。ギプス固定でも前医の固定では日常生活が不可能とのことで、接地面をフラットにして下体軸がぶれず、アラインメントを確保したギプス固定によって荷重歩行可能になる様子を動画で見せて頂きました。次に16歳男性のサッカーによる腓骨骨幹部骨折について解説され、腓骨が動くメカニズムについて解剖学的に話され、腓骨骨折では適切な固定ができれば免荷せず荷重歩行によって早期治癒が可能であるとの見解を述べられました。

次に自己紹介として自分がいかに医学や柔道整復の世界に魅せられていったかをお話されました。父も柔道整復師で自分や息子も骨折経験があり、その時、関わった柔道整復師である白石洋介先生（当時名古屋大学解剖学教室研究生）に骨折治癒過程の顕微鏡像のレクチャーを受けたことの衝撃から、解剖の世界に身を投じたいと願うようになった経緯などお話されました。そして柔道整復師への想い、情熱について語られ、黒船戦略と銘打って柔道整復の有用性について医師や海外に向けてアピールを続けていると話されました。

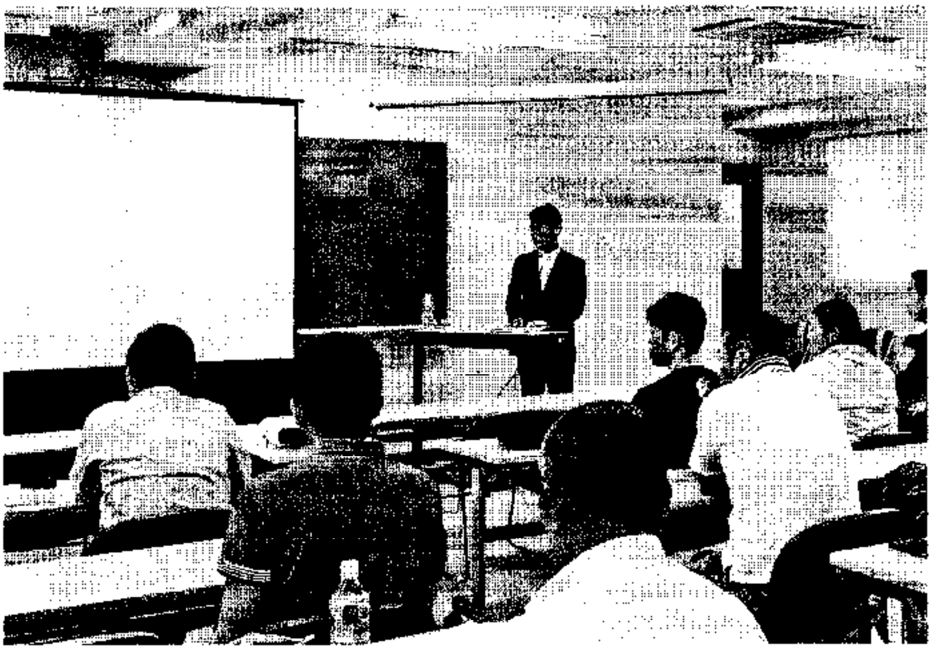
次に学習、習熟過程としての6つの次元のお話から痛み学の研究を10数年続け、追求していることなどを話され、次に近代柔道整復師への道として5つの理解を挙げられました。それは1）構造の理解、2）機能の理解、3）技術の理解、4）思考の理解、5）心の理解というもので、その各々に対して対応する内容を詳細に解説されました。その中でガレアッジ骨折の整復を動画で見せられ、柔道整復師の卓越した整復技術や微妙なさじ加減を要求される固定について解析して根拠の提示をしていくことが大事なことであるとされました。圧痛のとり方について、エコーのプローブ横を指で押さえて、浅層から深層のどこまで圧力が到達しているかを画像の歪を観察しながら指先の感覚訓練を行う方法を述べられ、骨



京都仏眼医療専門学校 椎名 京校長挨拶

折の介達痛のとり方も受傷外力方向にとらないと見落とす場合があると、肋骨骨折を例にとって話されました。

今後、柔道整復師の技術はエビデンスに基づかなければ決して評価されないとされ、感性の世界ではなく、科学的に解明していくことの重要性を説かれました。その上で自分の夢は大学病院の中に接骨院を開設することであると話され、学会発表の場や小学校でケガ予防の話をしたりするたびに柔道整復師をアピールするようにしておられるそうです。再度、柔道整復の科学的検証を進め、エビデンスを示していくことによって真の意味で柔道整復術は世界に認められていくでしょうと締めくくられました。



安井正佐也講師 講習風景

第二部：「信頼と安心感を高めるCS医療接遇マナー」
ビジネスコミュニケーションマナー講師　加藤しおな先生

CSとは顧客（患者）満足（Customer Satisfaction）のことで、3つの要素から成り立っているそうです。それは精神的サービス、物質的サービス、業務的サービスで、そのどれが欠けてもいけないし、バランスが大事なようです。加藤先生はビジネスコミュニケーション講師、日本メンタルヘルス協会公認心理カウンセラー、京商ビジネススクール講師、愛知県専門家認定 組織開発コンサルタントという肩書をお持ちでVoice Shi-Na代表としてコミュニケーションマナー研修、司会業務などを主軸にご活躍されていらっしゃいます。

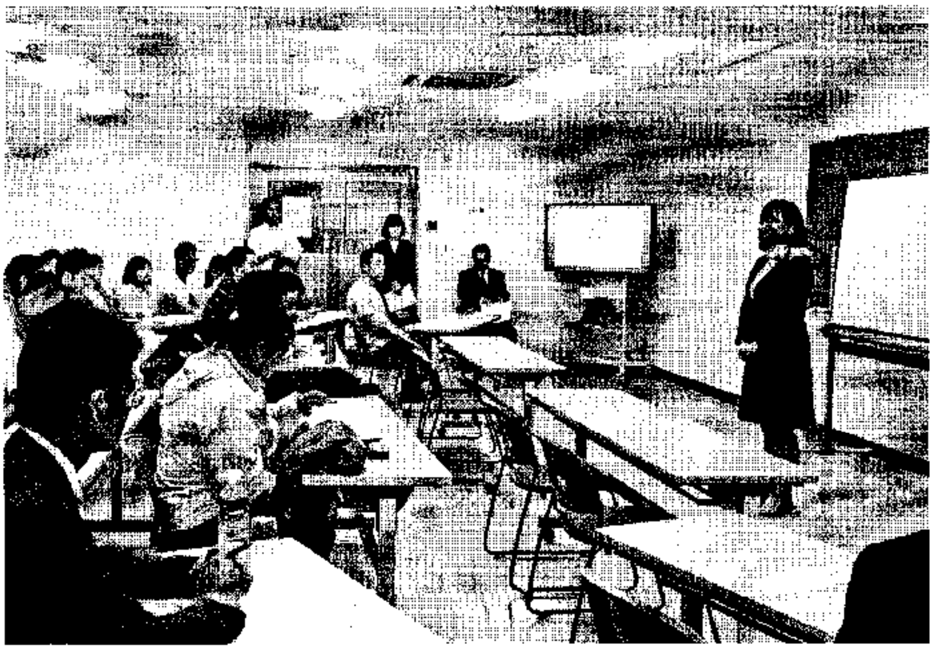
先生を拝見していると声、表情、仕草に気持ちよく伝えようという心構えが感じられます。ご講演をおっとりと聞いていると、「返事を返していただけると嬉しいです。」とにこやかな促しがあり、そこから実習は始まっていることに気が付きます。お茶出しをするときは右斜め後ろからお出しするのが基本だそうです。それは帯刀していた頃の習慣から来ているとのことです。しかし、場所やその他の条件によってはそのようにいかないこともあります。そこで臨機応変な応対、気配りの利いた声かけなどが大切になってきます。それは技術だけではない部分、即ち心の領域に関わってくるのでしょう。人は様々な年齢、立場、価値観、役職等の方がいらっしゃり、そのことを意識して応対しないといけないとのことです。

次に百円硬貨の裏と表を描いてみるワークをしました。毎日見ているものなのにあまり覚えていないものです。しかも描き方は十人十色です。私たちの洞察力はこの程度であると例えられて、ご講演は続きます。食事に大事な人をお連れするというシチュエーションで予約したにも関わらず予約が通っていなくてお詫びもない。その人が誕生日でサプライズがある店のはずなのにそれもない。そのような状況でもほとんどの人は文句を言わない。しかしリピーターにもならない。そのようなことを受講者の挙手で立証しながら理解を深めさせて下さいました。クレームがないからといって安心せず不満足を抱えていらっしゃる状況について洞察力を働かせて改善していくことが大事であると話されました。

医療接遇マナー５つのポイントとして ①丁寧　②誠実　③公平　④正確　⑤迅速 を挙げられ、CS患者様満足五大基本要素は ①信頼性　②安心感　③具象性　④共感性　⑤迅速性 とされました。続いて第一印象の重要性に話は移り、視覚情報、聴覚情報、言語情報は何パーセントずつを占めるかを各々に書かせて、何人かに聞かれてから答えを述べられました。答えは視覚情報と聴覚情報で９割をしめていましたが言語情報の重要性にも言及されました。「初対面は自分を変えるチャンスなり」という言葉を挙げられ、第一印象で問題があると、対立者になる可能性があり、第一印象が良好であれば認知的不協和理論によって後々まで良い関係を築けるということについても教わりました。

次に対面での言葉以外のコミュニケーションについて体感しました。ペアワークでアイコンタクトのワークや顎を上げたり引いたり、また、傾聴のワークでは腕を組んだり、足を組んだりしました。それにより対話の時の姿勢やしぐさによって受け取り方が大きく異なることを学びました。先生が我々に目をつぶらせて、同じ言葉で２度、話しかけをされたとき、あまりの違いに驚きました。その種明かしは「笑顔で話す。」ということでした。笑顔で話すだけでとてもいい感じに聞こえるようです。その後も聞くことと話すことの具体的な方法について実習を交えて解説いただきました。色々と教えて頂きましたがその根底には心があり、誠意をもって相手や周囲に気遣うことが大事なことと気が付く大変ためになる講習でした。

質疑応答を含めて午後５時までの予定でしたが少し早く終了しました。当日講習場所をご提供いただきました京都仏眼医療専門学校、担当の先生方には謹んでお礼申し上げます。京都仏眼医療専門学校は残念ながら平成28年度以降の生徒募集を停止されることになったとのことです。

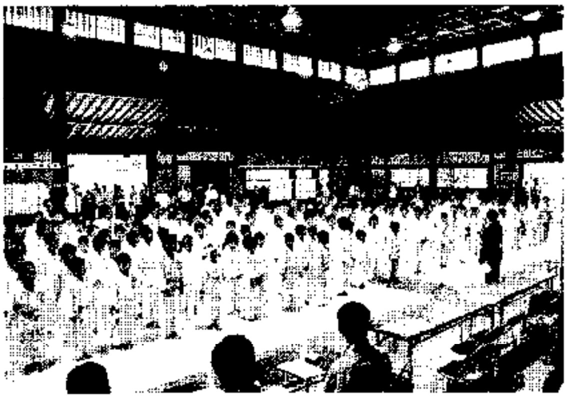


加藤しおな講師 講習風景

第28回 日整全国少年柔道京都大会
第4回 形競技会～旧武徳殿

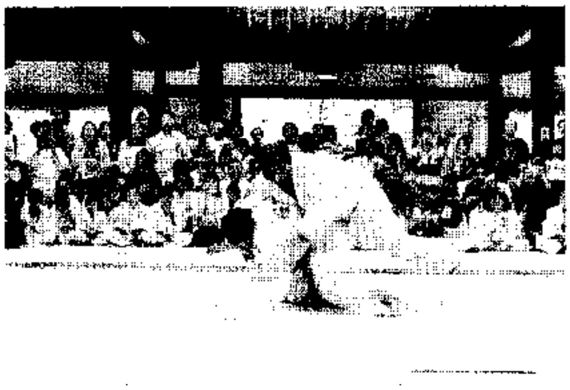
平成28年6月5日(日)京都市武道センター旧武徳殿（京都市左京区）において、公益社団法人京都府柔道整復師会主催による標記大会が開催されました。

午前8時30分より開会式が行われ、開会宣言、国歌斉唱、会長挨拶、優勝旗返還、試合上の注意、そして、京都府柔道整復師会少年少女柔道教室の北中勇作選手と兼田蒼志選手による選手宣誓のあと、早速、第1試合場で京都府下16チームが出場し低学年団体戦が行われました。各道場から小学1・2・3年生各1名ずつ3名が出場し、トーナメント方式で試合が行われ、熱戦が繰り広げられました。また第2試合場では、京都府下7チームが出場し形競技会が行われました。各チーム監督1名、選手2名（小学生高学年）で構成され、競技種目は「投の形」手技･腰技･足技です。3名の審査員が受取を一体と見て、礼法･技・流れを各10点満点で採点され、最優秀組は京都府代表として、10月に東京・講道館で行われる日整全国少年柔道形競技会に選出されます。



次に両試合場にて4年生・5年生・6年生の学年別個人戦が行われました。男女別、体重別ではないため、なかには身体の小さな選手が大きな選手相手に精一杯頑張っている姿を拝見し、思わず「ガンバレ！」と声を掛けたくなりました。上位入賞選手は京都府代表として、10月に東京・講道館で行われる日整全国少年柔道大会に選出されます。なお、毎年7月に開催されておりました近畿少年柔道大会・形競技会は廃止になりました。

試合終了後、閉会式が行われ、表彰、代表選手発表、閉会宣言により大会は終了しました。試合結果および全国大会出場選手は以下の通りです。



«団体戦»

低学年	優　勝	準優勝	3　位	3　位
	城陽市柔道教室	八幡柔道クラブ	八幡市柔道教室	福知山柔道教室

«個人戦»

高学年	優　勝	準優勝	3　位	3　位
4年生	城本　憲生 （宇治柔道会）	木村　穂花 （志翔館）	櫻井　一騰 （八幡柔道クラブ）	藤本　瑞己 （ＫＩＤＳ'大谷）
5年生	福田　銀次 （八幡柔道クラブ）	石原　求道 （東方館）	白数　健人 （福知山柔道教室）	徳田　大智 （城陽市柔道教室）
6年生	中川　凱斗 （東方館）	堀　　慶音 （ＫＩＤＳ'大谷）	竹村　賢 （城陽市柔道教室）	安土　峻介 （山科少年柔道クラブ）

«日整全国少年柔道大会出場選手»

4年生	5年生	5年生	6年生	6年生
城本　憲生 （宇治柔道会）	石原　求道 （東方館）	福田　銀次 （八幡柔道ｸﾗﾌﾞ）	堀　　慶音 （KIDS'大谷）	中川　凱斗 （東方館）

«形競技会»

優　勝（全国大会出場選手）			
道場名	おとくにクラブ柔道教室	（取）今井　遼河	（受）渡邊　晴仁

日整全国少年柔道形競技会出場選手

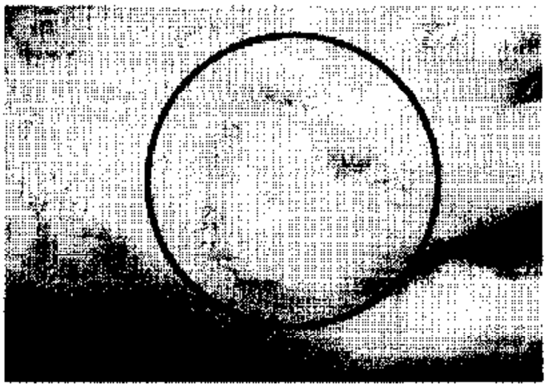
日整全国少年柔道大会出場選手

「トンズランス感染症とは」

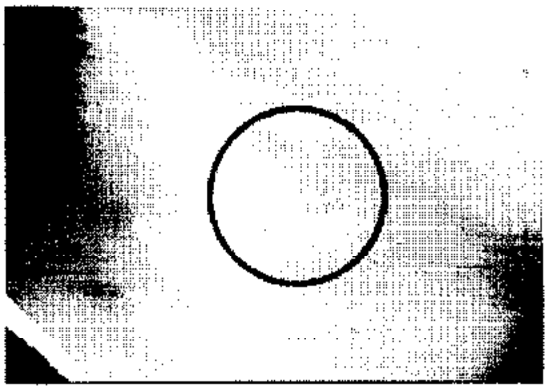
トリコフィトン・トンズランス菌は新型白癬菌、皮膚真菌（俗称：マット菌とも言われています）と余り聞きなれない名前の菌ですが、他者との接触により感染する皮膚真菌症の原因菌です。白癬菌の一種で、皮膚の角質層にあるケラチンを栄養源として寄生します。元々、日本に存在していた菌ではなく、1960年代に中南米からアメリカ、ヨーロッパ、韓国へと渡って行き2000年に入り国内に上陸したとされています。滅菌するには60℃以上の熱を与える事が必要とされています。

主な症状は、皮膚の紅班、虫刺されに似た症状なので、初期症状では気付かない事が多いです。水虫菌とは違い足には感染しにくく、頭、首、顔、上半身に発症することが多いです。主に上半身に症状が多発し、周囲に同種の症状が多発するようであれば感染症に罹患している可能性が高く、初期段階では痒み、発疹が起こり、発疹部にかさぶた、フケ等が見られるようになり、放置しておくと化膿し、脱毛といった症状が現れ、感染範囲の広範化・重症化を招くので早期の段階での皮膚科受診が好ましいです。軽度の場合、本人も気付かないうちに保菌者となり他者に移してしまう可能性も高いです。日本でも既に３万人ほどの国民が感染していると考えられています。順天堂大学などの調査では柔道団体にもかなりの発症者が出たと報告されています。

＜図1＞



【写真1】
体部白癬＝手の甲と、手首のあたりが赤く環になっている

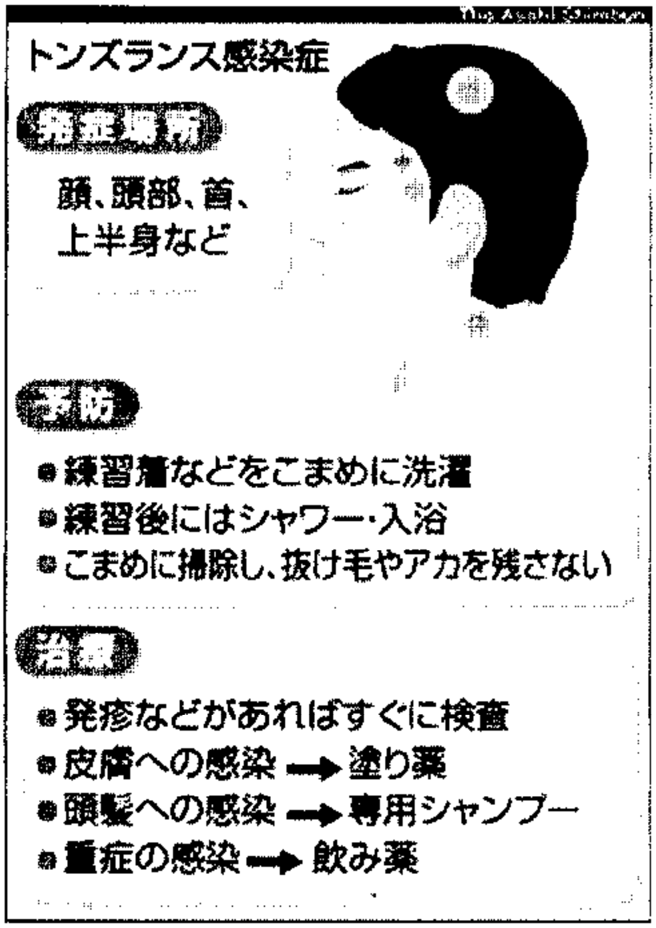


【写真2】
体部白癬＝ピンク色になった環状の部分が見える

【写真3】
頭部白癬＝頭の地肌が２ヶ所赤く腫れている

【写真4】
頭部白癬＝頭の地肌が盛り上がり化膿している

ただ、一般の湿疹に処方されるステロイド系の炎症薬を使用すると悪化を招く事もあるので、症状の発生機序はしっかりと医師に伝えるようにすることが重要です。水虫と同じ白癬菌の一種ではあるが、感染力が非常に強く保菌者との数分の接触で感染します。また、接触せずとも感染者と二週間ほど生活を共にするだけでも感染する可能性があります。主に、柔道・柔術やレスリング、相撲等の肌が接触する競技をされている方が感染し易く気付かないうちに家族内での感染も起こしている事もあるようです。



感染を疑う症状が出た時には早期に医療機関へ受診し、陽性であればタオルやスリッパの共用は避け、肌着など身につけるものは通気性の良い物を選び規則正しい生活を心がけ免疫を高めておくことが大事です。柔道やレスリング、相撲等の接触の多い競技をされている方は二次感染を未然に防ぐため、練習場の掃除はしっかり行い練習着は毎回洗濯し早めに入浴もしくはシャワーを浴びるなりして身体を清潔にしておくように徹底することが感染を防ぐためにも重要です。

治療と予防をしっかりとやれば、決して怖い病気ではないことが理解されています。各競技の管理者、代表の方々はしっかり認識して指導に当たっていただきますよう宜しくお願いします。

参考：
公益社団法人日本柔道連盟　http://www.judo.or.jp/p/28295
エンジョイ レスリング クラブ　http://enjoywrestling.blog44.fc2.com/blog-entry-554.html
NAVER まとめ　http://matome.naver.jp/odai/2143402303871362901
水虫専科　http://mizumushidoujyou.seesaa.net/article/117258833.html

（広報部　梅谷慎二）

会員投稿

国宝石清水八幡宮 第53回古武道奉納演武大会

井　上　彰　二

平成28年4月17日(日) 京都府八幡市にある石清水八幡宮において標記大会が開催された。

(由緒)

平安時代始めの貞観元 (859) 年、南都大安寺の僧行教は、豊前国 (大分県) 宇佐宮にこもり日夜熱祷を捧げ、八幡大神の近い、「石清水男山の峰に移座して国家を鎮護せん」と同年男山の峰に御神霊を御奉安申し上げたのが当宮の起源である。石清水の社号は創建以来の由緒深い社号であり、大正7年、石清水八幡宮と称され、現在に至っている。(官幣大社)

(奉納内容)

これは嘉納治五郎師範によって、創始された、講道館柔道古式の勢法(かた)の原形となったもので起倒流瀧野派の伝統を継承し連綿としてその道統を伝えている日本の代表的流派である。乾坤一擲の捨身技。捨てゝ生きる

(起倒流柔術)

長尾淳彦、中田康人

井上彰二、岡島　順、西村美紀

(参) 西村正樹氏 (東映)

小野木俊文先生、橋本禎万先生 (府柔連)

中田里恵子氏

平成28年度　諸流武道奉納次第

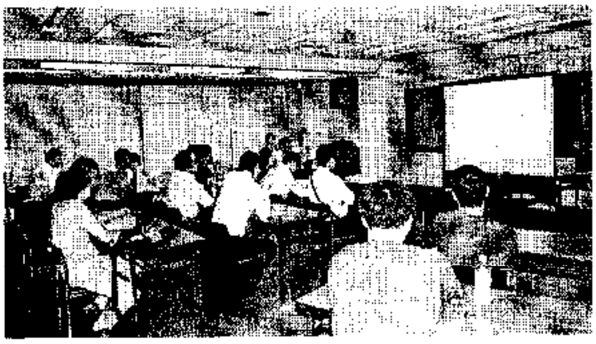
10：30～		研修センター出発（出発までに手水の儀あり） 神職の先導により下記奉納者順の２列縦隊にて参進	
10：45～		本殿前にて修祓	
11：00～	10	礼　　射	宇治市弓道協会
10：10～	20	空　　手	日本障害者武道会
11：30～	20	居 合 道	戸山流居合道会　京田辺本部
11：50～	20	居 合 道	無双直伝英信流大日本居合道連盟
12：10～	20	古 武 道	日本伝統古武道法典流錬心熱
12：30～	10	柔　　道	京都府柔道連盟　**起倒流柔術**
12：40～	20	空　　手 合 氣 道	日本正武館・西山高校合氣道部
13：00～	20	居 合 道	無双直伝英信流京都晴剣会
13：20～	20	剣　　術	薬丸自顕流剣術近江道場
13：40～	20	空 手 道	空手道剛柔流唯心会
14：00～	20	居 合 道	戸山流居合道　大阪誠和会
14：20～	20	剣　　術	小野派一刀流　長正館
14：40～	20	居 合 道	京都伯耆会
15：00～	30	杖　　道	神道夢想流杖術（関西杖道連盟）
		剣　　術	神道流剣術
		短 杖 術	内田流短杖術
		鎖 鎌 術	一心流鎖鎌術
		十 手 術	一角流十手術
随　時		弓　　道	宇治弓道協会
15：30		終了予定	

※昨年の申し合わせにより弓道以外の奉納順につきましては、最後の団体を最初に繰り上げ、順次下へスライドさせていただきます。

超音波画像観察装置初心者セミナー

平成28年5月21日(土)午後3時より京都府柔道整復師会館3階中会議室にて学術部主催による超音波画像観察装置初心者セミナーが行われました。株式会社SSBの営業部マネージャー 柳沢昭一様を講師にお招きし「肘関節」をテーマにご講義いただきました。

田中弘昭学術副部長の司会で進行され長尾淳彦会長の挨拶の後、司会者より柳沢昭一様の紹介があり講義が行われました。今回の講義は肘関節を中心にお話をしていただき、プローブの持ち方から、簡単な肘関節の構造の説明、観察可能な部位の説明、肘関節内側部の観察の実践、血管、神経の見え方の説明、実際に関節を動かしながらの靭帯、神経の動きを確認、肘内障での靭帯の動きの説明など、一般の人では見ても診断出来ない部分を柳沢マネージャーが解説を交えながら説明していただきました。5時にカリキュラムを終えて、質疑応答が行われ、最後にリクエストに応えて肩関節の動きの説明をしていただき、5時10分に終了しました。超音波での画像観察に関しては我々柔道整復師に認められた観察方法ですので、鑑別知識が必要になってくるかもしれません。超音波画像観察装置のメリットとしては気軽に動的な観察をすることが可能なところではないでしょうか。まだまだ、導入されておられる会員は少ないとは思いますが、興味のある会員の先生方は一度参加されてみてはいかがでしょうか。



講義風景

左　講師 柳沢昭一様

「京都市体育振興会連合会会長集会 ニュースポーツ大会」救護活動報告

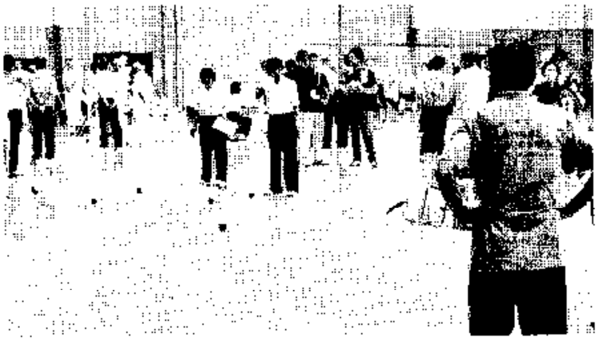
救急救護隊　第一分隊　分隊長　**西　村　太　詞**

平成28年6月11日(土)京都市左京区の京都市武道センターにて「京都市体育振興会連合会会長集会 ニュースポーツ大会」が開催され、競技種目であるソフトバレーボール、インドアペタンクの救護隊として第一分隊より中島哲夫隊員と西村太詞分隊長が参加しました。

AEDの設置場所や隊員の役割分担等の確認を行い、開会式に参列しましたが、開会式終了直後に「膝に水が溜まって不安なのでテーピングをしてほしい」と出場選手の男性が救護所へ来られました。自己流でテープをしていたとのことで、隊員のテーピング後「膝が安定した」と仰っていました。また試合後にも救護所にお見えになり「ちゃんとバレーボールが出来た」と感謝されました。

幸いなことに今大会では傷病者は発生せず無事救護隊活動を終えることが出来ました。そしてケガの予防という観点から我々柔道整復師が救護隊として大会参加者の役に立てるという事を再認識しました。

(左) 中島哲夫隊員　(右) 西村太詞分隊長

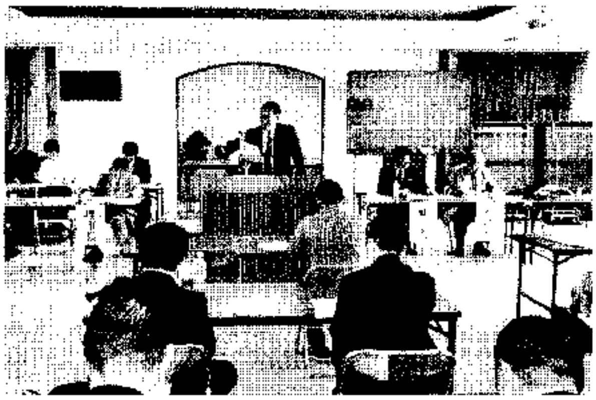


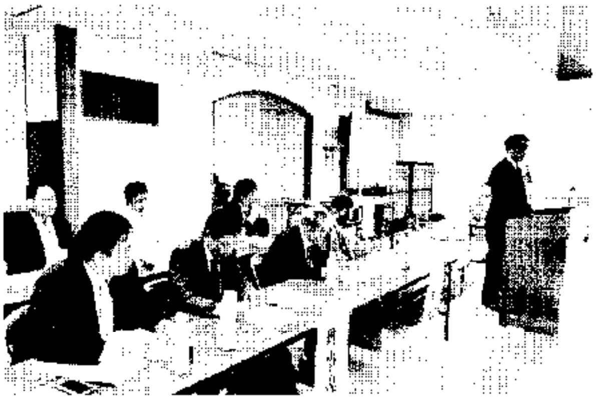
競技風景

平成28年 京都府柔道整復師協同組合総代会

平成28年5月21日(土)午後3時より京柔整会館大会議室において、協同組合総代会が開催されました。関 弘美理事長挨拶のあと、藤野勝弘相談役、長尾淳彦顧問よりご祝辞を賜りました。続いて、司会者一任により山村政男組合員が議長に選出され、次第に沿って、第1号議案から第5号議案まで議事が進行されました。当日総代出席者12名、委任状提出者26名、計38名で全総代数43名の過半数を超えており、賛成多数により議案はすべて成立しました。また本年は役員改選の年であり、長留省悟監事が退任され、東森健太郎組合員が新たに監事に就任されました。最後に中西栄一副理事長の挨拶をもって総代会は閉会となりました。

(投稿：協同組合理事　波多野晃彦)





支部だより

伏見柔整会

通信員　松　本　吉　弘

平成28年6月18日京都ロイヤルホテルにおいて支部会、懇親会が開催されました。午後5時30分より支部会が始まり、まず協同組合指定業者であるライフマイスター株式会社本家輝雄様より自転車保険の説明をしていただきました。次に新入会員の青柴龍昇先生の紹介があり、決算報告、予算案成立と進み最後に長尾淳彦会長による会館移転、養成学校、料金改定、公益社団とその他への区別化等のお話しがあり、質疑応答がなされました。

午後6時30分、翠の間へと移り市会議員で本会顧問の橋村芳和先生の乾杯のご発声により懇親会は始まりました。盛んに情報交換がなされ、和やかな雰囲気で宴が進み、8時30分に戸川和孝支部長の挨拶で閉会となりました。今回出席者が18名と少なく、ご多忙で参加出来なかった先生も次回は是非参加して頂けることを望んでおります。

会員の動静

新入会員紹介

青　柴　穣　司　（伏見支部）
（４月入会）　横大路アールエイ鍼灸整骨院
〒612－8483
京都市伏見区横大路草津町48
Tel・Fax：075－621－3010

髙　木　秀　典　（東山・山科支部）
（４月入会）　道家接骨院
〒607－8482
京都市山科区北花山大林町88
Tel・Fax：075－501－5900

山　本　啓　司　（下京・南支部）
（４月入会）　ぶつげん接骨院
〒600－8118
京都市下京区西高瀬川五条下ル
平居町17－１
Tel：075－342－3396
Fax：075－342－3387

和　田　友　恵　（南山城支部）
（４月入会）　日向整骨院　木津院
〒691－0214
京都府木津川市木津池田10－７
リラフォート101
Tel・Fax：0774－73－0310

退　会

４月　森孝太郎（西京支部）

５月　杉田純也（宇治支部）

掲示板コーナー

京柔整カレンダー

		柔　整　関　係	京都の行事
7月	31日(日)	第42回 近畿ブロック柔道大会 （京都市武道センター）	
8月	7日(日)～10日(水)		五条坂陶器祭り （会館の駐車場は使えません）
	16日(火)		大文字五山の送り火
9月	11日(日)	機能訓練指導員 フォローアップ講習会	
	18日(日)	京都医健専門学校合同講習会	
10月	9日(日) （東京・講道館）	第40回 日整全国柔道大会 第25回 日整全国少年柔道大会	
	22日(土)		時代祭り（御所～平安神宮）
	23日(日)	第41回 近畿学術大会奈良大会 （奈良県社会福祉総合センター）	

編集後記

柔道整復療養費検討専門委員会が開かれ、柔道整復療養費のあり方について検討されている。少子高齢化の時代を迎え、今後ますますの給付適正化に向かうことは間違いないと思われる。今後の動向に注目したいと思う。　森田康裕

どの業界でもそうですが、権力のある大きな組織になればなるほど、不祥事が明るみに出た時には大きな問題となって表に出てくるものです。中には問題視する事自体が間違っている場合も有ると思います。深く考えると広報の仕事をさせていただいているせいか人に伝える事って難しいなぁと思う今日この頃です。　しんじ

先日、イチロー選手が新記録を達成した。彼の成功は確立された「ルーティーン」にあるという。「ルーティーン」には多意あるが、ここでは「お決まりの所作・手順」という意味で、イチロー選手には打席に入る前だけではなく、朝起きた時から夜寝るまでの「ルーティーン」があるらしい。すなわち、例外を作らないことで、精神的・肉体的な安定を図り、力みを少なくするというものである。これはスポーツ選手に限らず、我々にも必要で大切な事であると思う。あなたには「ルーティーン」ありますか？　hatabou

また、暑くて、熱い夏がやってきた。暑い夏があるから冬の寒さが分かる。暑い夏があるから春の到来に心躍る。暑い夏があるから秋の清々しさと寂しさを感じる。この夏はいつもの夏と違うような気がしている。なぜだろう。その答えは自分の中にあるけれど、それとは別にまだよく判っていないことが隠れている。さて、夏の終わりに答えはでているのかな？　Yuji

本会会館の仮移転先も決まり、いよいよ引っ越しに向けて動き出しています。広報部・部室には20年余りお世話になり思い出はいっぱいですが、いよいよ断捨離へと部員一同で取り組みます。祇園祭も終盤となり東京都知事の選挙も迫ってきましたが、4年後の東京オリンピック・パラリンピックに向けて景気も上昇となれば良いですね。まずは足元を踏み固め、地道に一歩ずつ進むしかないですね。　☆nakatoshi☆

次号　しめ切り　8月26日

京柔整会報
機関誌 140号

平成28年7月20日

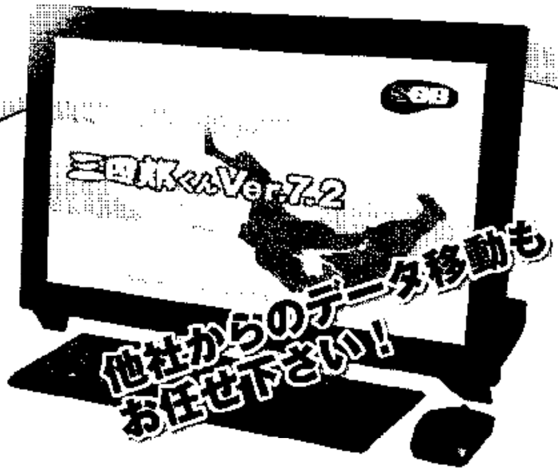
発行者　公益社団法人　京都府柔道整復師会
会長　長尾淳彦
編集責任者　広報部　中川稔貴
発行所　京都市東山区大和大路五条下ル東入芳野町79の2
☎京都(075)541-4500
(広報部)
印刷所　奥原印刷紙行
京都市西京区松室北河原町205
TEL.(075)381-5611
FAX.(075)392-0111

洗練されたインターフェイスと使い易い操作性。

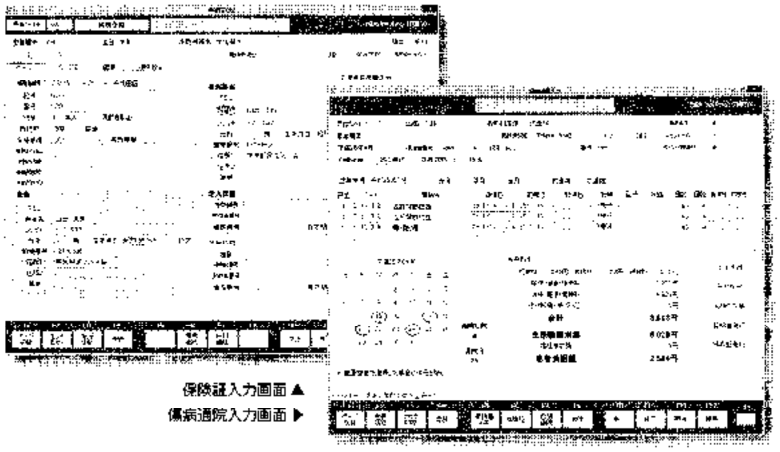
柔道整復師向 事務管理システム

三四郎くんVer.7.2

療養費改正等の保険改正にすばやく対応。
迅速サポートでご好評を頂いている『三四郎くん』は、
常に進化を続ける信頼と実績の事務管理ソフトです。



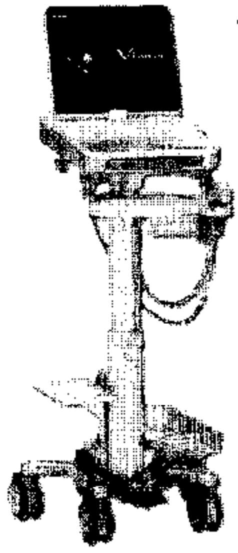
※一部ご希望に添えない場合があります。



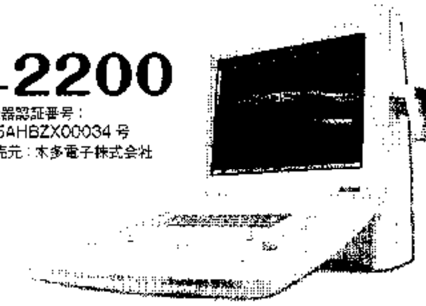
保険証入力画面 ▲
傷病通院入力画面 ▶

超音波画像観察装置 ラインナップ

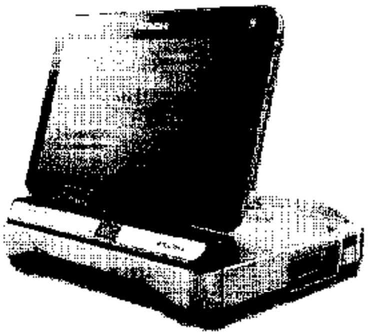
骨・軟骨・筋・腱・靭帯などがリアルタイムに観察できます。



Viamo
Limited Edition
医療機器認証番号：
第 226ABBZX00136000 号
販売元：東芝メディカルシステムズ株式会社



HS-2200
医療機器認証番号：
第 225AHBZX00034 号
製造販売元：本多電子株式会社



ARIETTA
Prologue SE
医療機器認証番号：
第 227ABBZX00109000 号
製造販売元：株式会社日立製作所

その他、様々な機種を取り揃えております。

株式会社 エス・エス・ビー
Web | http://www.sanshiro-net.co.jp
詳しくはこちら

関西営業所
〒532-0011
大阪市淀川区西中島4-13-24 花原第3ビル405号
TEL.06-6390-3462 / FAX.06-6390-3463

最新柔整情報が読める!! 柔整ホットニュース
http://www.jusei-news.com/

◎中学・高校保健体育 一種免許状取得可能 ※星槎大学との協定による

◎Wスクールでの鍼灸師、柔道整復師のWライセンス取得

トップアスリート、スポーツメディカリストを目指す

明治国際医療大学

〒629-0392 京都府南丹市日吉町
TEL 0771-72-1188（入試事務室） FAX 0771-72-1189
URL http://www.meiji-u.ac.jp

受験生のためのポータルサイト「GOGO受験生」にアクセス

鍼灸学部
鍼灸学科
目指す資格
はり師・きゅう師（国家資格）
■アスレティックトレーナー（JATAC）
■健康運動実践指導者
■スポーツプログラマー

保健医療学部
柔道整復学科
目指す資格
柔道整復師（国家資格）
■アスレティックトレーナー（JATAC）
■健康運動実践指導者
■スポーツプログラマー
■ジュニアスポーツ指導員

看護学部
看護学科
目指す資格
看護師・保健師・助産師（国家資格）
■アロマセラピスト
■養護教諭二種免許
■第一種衛生管理者免許

誰かの支えになる喜び、アスリートを支える医療人へ

明治東洋医学院専門学校

〒564-0034 大阪府吹田市西御旅町7-53
TEL 06-6381-3811 FAX 06-6381-3800
URL http://www.meiji-s.ac.jp

オープンキャンパスのお申込みはコチラ!!

鍼灸学科 ［医療専門課程3年制］
目指す資格
はり師・きゅう師（国家資格）
■アスレティックトレーナー（JATAC）
■スポーツアロマトレーナー（JSTA）
■アロマコーディネーター（JAA） etc.

柔整学科 ［医療専門課程3年制］
目指す資格
柔道整復師（国家資格）
■アスレティックトレーナー（JATAC）
■スポーツアロマトレーナー（JSTA）
■アロマコーディネーター（JAA） etc.

京整